＜一般事業主行動計画例＞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和〇年〇月〇日

　　　　　　　　　行動計画

社員が仕事と子育てを両立させることができ、すべての社員がその能力を十分に発揮で

　きるようにするため、次のように行動計画を策定する。

１．計画期間　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

２．内　　容

　　　目標１：計画期間内に育児休業の取得率を次の水準以上にする。

　　　　　　　　男性社員…取得率７％以上　女性社員…75％以上

＜対策＞

●令和　年　月～　社員へのアンケート調査

●令和　年　月～　各職場における休業者の業務カバー体制の検討（代替要員の確保、

業務体制の見直し、複数担当者制、多能工化など）・実施

目標２：小学校入学前までの子を持つ社員が利用できる短時間勤務制度を導入する。

＜対策＞

●令和　年　月～　社員のニーズの把握、検討開始

●令和　年　月～　制度導入

●令和　年　月～　社内説明会などによる社員への周知

目標３：令和〇年〇月までに、所定労働時間を削減するため、ノー残業デーを月〇回

　　　　設定、実施する。

＜対策＞

●令和　年　月～　社員へのアンケート調査

●令和　年　月～　問題点の検討

●令和　年　月～　ノー残業デー実施、社員への周知

目標４：不妊治療のために利用可能な休暇制度等両立支援制度を導入し、利用しやす

い環境を整備する。

＜対策＞

●令和　年　月～　社員へのアンケート調査、検討を開始

●令和　年　月～　制度導入、社員へ周知

●令和　年　月～　両立支援担当者の選任、相談窓口の設置

目標５：事業所周辺の小中学校の生徒を対象に、工場見学ができる「子ども参観日」

を創設する。

＜対策＞

●令和　年　月～　受け入れ方法や体制について検討

●令和　年　月～　関係機関、学校との連携

●令和　年　月～　参観日の実施、次回に向けての検討

※くるみん認定を目指す場合は雇用環境の整備に関する目標が必要です。目標５のみの行動計画では認定対象と

なりませんのでご注意ください。

**※行動計画は、自社の現状や労働者のニーズを把握し策定してください。**